

## 環境共生住宅システムシート

---

1. 掲載内容
2. 環境共生住宅認定制度・CASBEE との関係



一般社団法人  
環境共生住宅<sup>®</sup>  
推進協議会

## 1. 掲載内容

環境共生住宅システムシートでは、以下の①～⑯の項目を掲載しています。

シートには、システムの概要が記載されているだけですので、より詳しく知りたい方は各メーカーに直接お問い合わせいただくか、ホームページなどをご参照ください。

### ①分類

- ・太陽熱利用、太陽光利用、燃料電池、コージェネレーションシステム、断熱システム、ヘッダー方式給湯配管などの大分類です。

### ②用途

- ・戸建住宅用なのか集合住宅用なのかを記載しています。

### ③機能

- ・何を目的としたシステムなのかを記載しています。

### ④名称

- ・システムの名称

### ⑤連絡先

- ・連絡先、電話番号、HP アドレス

### ⑥環境共生住宅認定との関連項目

- ・環境共生住宅認定との関係を整理しています。詳細については次ページを参照ください。

### ⑦CASBEE との関連項目

- ・CASBEE-新築・CASBEE-すまい(戸建)との関係を整理しています。詳細については次頁を参照ください。

### ⑧システム概要

- ・システムの概要、目的や仕組み、その効果などを自由に記載しています。なお、CO<sub>2</sub> 排出量やその削減量といった数値は、条件設定が揃えられないため、ここでは掲載していません。各メーカーのHPを参照してください。

### ⑨気候・地域適応性

- ・どのような条件で設置が可能か、気候や地域の適応性について記載しています。

### ⑩留意事項

- ・システム設置上の問題や、その他特に留意したい内容について記載しています。

### ⑪環境関連の取得済み適合規格

- ・エコマークなど環境関連の取得済み適合規格を記載しています。

### ⑫主たる構成部品

- ・どのような部品で構成されたシステムなのかを記載しています。

### ⑬保証

- ・有償、無償の保証制度について記載しています。

### ⑭メンテナンス体制

- ・特にシステムの場合は、設置後のメンテナンス体制が重要になります。そのしくみや体制について記載しています。

### ⑮価格

- ・価格については、未記載の場合もあります。詳細は各社のHPを参照ください。

### ⑯その他

## 2. 環境共生住宅認定制度・CASBEE との関係

### 2-1 環境共生住宅認定制度

#### 1) 環境共生住宅認定制度とは

環境共生住宅の研究の成果として、(財)建築環境・省エネルギー機構が「環境共生住宅認定基準」を策定し、1998年に発足させた認定制度です。基準に基づいて環境共生に資する性能などが優れた住宅を認定することにより、環境共生住宅の普及を図ると同時に環境への配慮の重要性を広く啓発することを目的としています。

(出典:(財)建築環境・省エネルギー機構ホームページより <http://www.ibec.or.jp/nintei/kyousei/index.html>)

#### 2) 環境共生住宅認定基準と環境共生住宅システムシート

環境共生住宅認定基準は、「CASBEE-すまい(戸建)」のリリースに伴い改定され、CASBEEの評価指標の導入と同時に新たに「特定評価項目」が定められました。これは、環境共生住宅とするための特定の性能に関する評価項目のことで、「省エネルギー」、「資源の高度有効利用」、「地域適合・環境親和」、「健康快適・安全安心」に係わる項目について、一定の性能を定めています。

環境共生住宅システムシートでは、認定基準に新たに定められた特定評価項目と、環境共生住宅部品との関係について整理し、当該システムにどのような住宅設計上の工夫や他の部品を組み合わせれば、特定評価項目基準を達成するかを想定し表示しています。



以下が特定評価項目です。

### (1) 省エネルギー性能

#### ① 高度な熱損失の低減

環境共生住宅は、住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく日本住宅性能表示基準(以下「日本住宅性能表示基準」という。)における、省エネルギー対策等級 4 に適合するものでなければならない。

#### ② 再生可能エネルギー等の利用

環境共生住宅は、以下の設備のいずれか 1 つ以上を採用しなければならない。

- a. 太陽光発電システム
- b. 燃料系潜熱回収瞬間式給湯器
- c. 電気ヒートポンプ式給湯機
- d. 太陽熱温水器、太陽熱給湯システム
- e. ガスエンジン式コージェネレーションシステム
- f. 燃料電池式コージェネレーションシステム

### (2) 資源の高度有効利用

#### ③ 高度な耐久性

環境共生住宅は、日本住宅性能表示基準における、劣化対策等級 3 に適合するものでなければならない。なお、木材の防腐・防蟻処理に用いる、「CCA」及び「クレオソート油」、鉄骨の防錆処理に用いる、「鉛系さび止めペイント」「2液形タールエポキシ樹脂塗料」「2液形タールエポキシ樹脂プライマー」については使用してはならない。

#### ④ 維持管理のしやすさ

環境共生住宅は、維持管理を行なうため、日本住宅性能表示基準における、維持管理対策(専用配管)等級 3 に適合するものでなければならない。

#### ⑤ 水資源の高度有効利用

環境共生住宅は、以下に示す節水型機器を 2 つ以上設置しなければならない。

- a. 節水型便器
- b. 浴室サーモスタット水栓 + 手元止水機構付節水シャワーヘッド
- c. 食器洗い洗浄機

### (3) 地域適合・環境親和

#### ⑥ 地域の水循環への積極的な配慮

環境共生住宅は、雨水の有効利用を図るため降水量や地盤の条件に従い、地下浸透あるいは雨水貯留タンクを設置しなければならない。

#### ⑦ 積極的な緑化

環境共生住宅は、以下に示す取組みを行わなければならない。

- a. 外構面積の 40 パーセント以上の緑化面積を確保すること。
- b. 敷地内に郷土種(その土地に馴染む種類)の樹木を 1 戸当たり 1 本以上植栽すること。

#### ⑧ まちなみ景観への配慮

環境共生住宅は、まちなみ景観の向上に資する工夫を、建物について1項目、建物以外の外構等について1項目以上行わなければならない。

### (4) 健康快適・安全安心

#### ⑨ 人の健康・環境に配慮した建材の使用の徹底

環境共生住宅は、室内空気環境を良好に保つため、次の基準を満たさなければならない。

- a. 下地材も含め、国土交通省告示 113～115 号(平成 14 年 12 月 26 日)の対象となる建材・施工材を使用する際は、F☆☆☆☆等「規制対象外」に該当する建材を使用すること。また、同告示の対象となる建材・施工材を含む複合材、設備機器等については、F☆☆☆☆同等以上のものを使用すること。
- b. 居室に用いる内装仕上げ材および内装仕上げ材等工事に用いる接着剤・塗料等は、トルエン・キシレン不使用のものとする。

## 2-2 CASBEE

### 1)CASBEEとは

「CASBEE」(建築環境総合性能評価システム)は、建築物をそれが有する環境性能で評価し格付けする評価ツールです。省エネや省資源・リサイクルといった環境負荷を削減する性能はもとより、建物内外の快適性や景観への配慮といった環境品質・性能を向上させる取り組みも含め、建築物の環境性能を総合的に評価するシステムです。

CASBEEの開発は、2001年から始まり国土交通省の主導の下で(財)建築環境・省エネルギー機構が事務局を務める日本サステナブル・ビルディング・コンソーシアム(2009年度から一般社団法人)内に設置された委員会において継続的に進められています。2002年には最初の評価ツール「CASBEE-事務所版」が、その後2003年7月に「CASBEE-新築」、2004年7月に「CASBEE-既存」、2005年7月には「CASBEE-改修」が完成し、公開されました(最新版は2008年7月)。更に、2006年7月には「CASBEE-まちづくり」(最新版は2007年11月)、2007年9月に「CASBEE-すまい(戸建)」も完成しました。

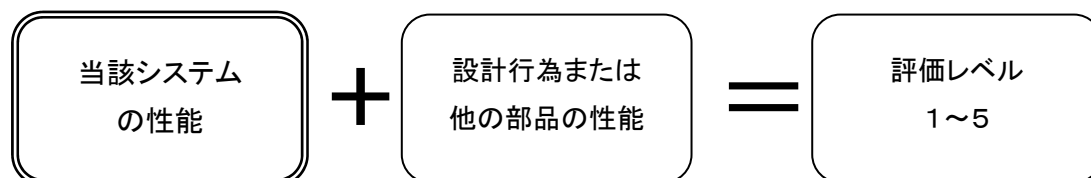
CASBEEは、

- (1)建築物のライフサイクルを通じて評価すること。
  - (2)「建築物の環境品質・性能(Q)」と「建築物の環境負荷(L)」の両側面から評価すること。
  - (3)「環境効率」の考え方をを用いて新たに開発された評価指標「BEE(建築物の環境性能効率、Built Environment Efficiency)」で評価すること。
- という3つの理念に基づいて開発されました。評価の結果はBEEの値に応じて、「Sランク★★★★★(素晴らしい)」から、「Aランク★★★★(大変良い)」「B+ランク★★★(良い)」「B-ランク★★(やや劣る)」「Cランク★(劣る)」という5段階に格付けされます。

(出典:(財)建築環境・省エネルギー機構ホームページより <http://www.ibec.or.jp/CASBEE/index.htm>)  
※なお、CASBEEの評価マニュアルは、上記の(財)建築環境・省エネルギー機構ホームページ(<http://www.ibec.or.jp/CASBEE/index.htm>)よりダウンロードできます。

### 2)CASBEEと環境共生住宅システムシート

CASBEE ツールのうち、集合住宅を対象とした「CASBEE-新築」と、戸建住宅を対象とした



「CASBEE-すまい(戸建)」について、環境共生住宅システムとの関係を整理し、システムシートに表示しました。

CASBEEは、建築を総合的に評価するツールですので、ひとつのシステムを選択するだけで評価が決まることは少なく、設計の工夫や他の部品との組み合わせで評価されます。

環境共生住宅部品シートでは、掲載されているシステムの性能が、CASBEEの評価対象になる項目毎に、当該部品の性能に加えどのような設計行為または、他の部品を組み合わせれば、高い評価レベルになるのかを整理し表示しています。